



JETRO

河南省・鄭州市 概況説明資料

2025年7月

日本貿易振興機構（ジェトロ）
武漢事務所



1. 河南省の概況

河南省の概況

河南省は「中原」と呼ばれる中華民族発祥の地、洛陽や開封など古都を擁する

- ・河南省は「中原」と称された華夏文明、中華民族発祥の地として知られる。省都は鄭州市。
- ・全国でも有数の食糧（穀類、イモ類、豆類）生産地域で、生産量は黒竜江省に次ぎ中国国内第2位。油、肉類、綿花などの生産量も全国で上位に位置しており、農業大省と呼ばれる。
- ・鉱物資源や石油、石炭、天然ガスが多く埋蔵されているため、電力やガスに関わるエネルギー産業も盛ん。
- ・主要産業は化学工業、非鉄金属工業、アパレルと鉄鋼産業。また、高エネルギー、自動車、電子情報、設備製造業、食品産業、軽工業と建材工業の6つの重点産業の育成に取り組む。
- ・進出している大手外資企業には、バドワイザー（米）、フォックスコン、日産、明電舎、レゾナック、鬼怒川ゴム、住電電装、タチエスなどがある。

河南省と他都市
（北京、上海、広州、成都）の位置関係



河南省の主要都市



河南省の概況

中原経済圏を率いる河南省、国策として経済圏の開発を進める

- ・「中原経済圏」は、河南省が主体となって推進する地域経済圏構想であり、河南省全域に加えて河北省、山東省、山西省、安徽省の一部を加えたものとなっている。
- ・同構想は、2012年に国務院によって発表され、国策として同地域の経済圏開発が進められている。
- ・同経済圏は、3つの変化（工業化、都市化、農業現代化）を取り入れ、①食糧生産モデル地域の創設 ②豊富な鉱物資源を利用した産業の育成 ③物流機能の育成と発展を目指す。

河南省および周辺の経済圏



出所：Google Map他

中原経済圏を支える開発区

河南省には9つの国家級経済技術開発区と8つの国家級ハイテク技術産業開発区がある。これらの開発区は10の都市に分散しており、鄭州と洛陽、安陽には両方が配置されている。



国家級経済 開発区

- ①鄭州経済技術開発区
- ②開封経済技術開発区
- ③漯河経済技術開発区
- ④鶴壁経済技術開発区
- ⑤許昌経済技術開発区
- ⑥洛陽経済技術開発区
- ⑦新郷工業園
- ⑧林州紅旗渠経済技術開発区
- ⑨濮陽経済技術開発区

国家級ハイテク 技術産業開発区

- A:鄭州高新技術産業開発区
- B:洛陽高新技術産業開発区
- C:安陽高新技術産業開発区
- D:南陽高新技術産業開発区
- E:新郷高新技術産業開発区
- F:平頂山高新技術産業開発区
- G:焦作高新技術産業開発区
- H:信陽高新技術産業開発区

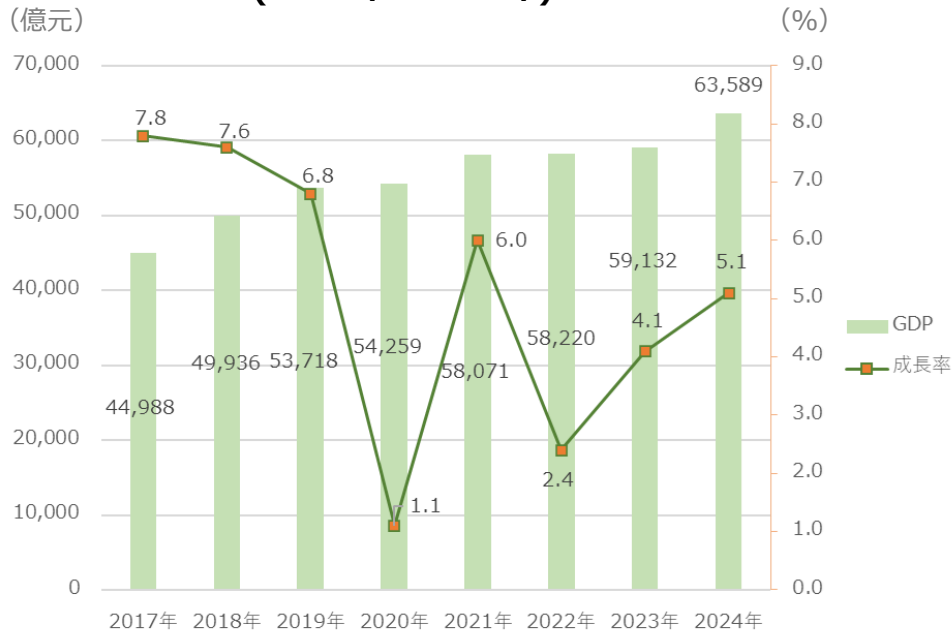
出所：河南省投資ガイド

河南省の概況

河南省のGDPは中国中部地域で最大、6兆元を突破

- 河南省の域内GDPは6兆3,589億9,900万元となり、初の6兆元を突破。中国中部地域（河南、湖北、湖南、江西、山西、安徽）の中で最大。
- 人口は減少傾向にあるものの、2024年末時点の人口（約9,785万人）は、広東省（約1億2,780万人）、山東省（約1億80万人）に次いで中国国内省別人口の第3位となっている。
- 貿易総額は前年比1.2%増となり、2023年（前年比3.8%減）から増加を見せた。

河南省におけるGDPの推移
(2016年～2024年)



出所：河南省統計データを基にジェトロ作成

河南省に関する各種データ(2024年)

指標	数値	前年比 (%)
面積	16.7万km ² (参考:日本本州22.8万km ²)	—
人口	9,785万人	—
GDP	6兆3,589億9,900万元	5.1%
社会消費品 小売総額	2兆7,596億6,900万元	6.1%
都市住民 一人当たり 可処分所得	4万2,027元	4.5%
貿易額	8,201億7,100万元	1.2%
(輸出額)	5,227億9,700万元	▲1.0%
(輸入額)	2,974億7,100万元	5.2%

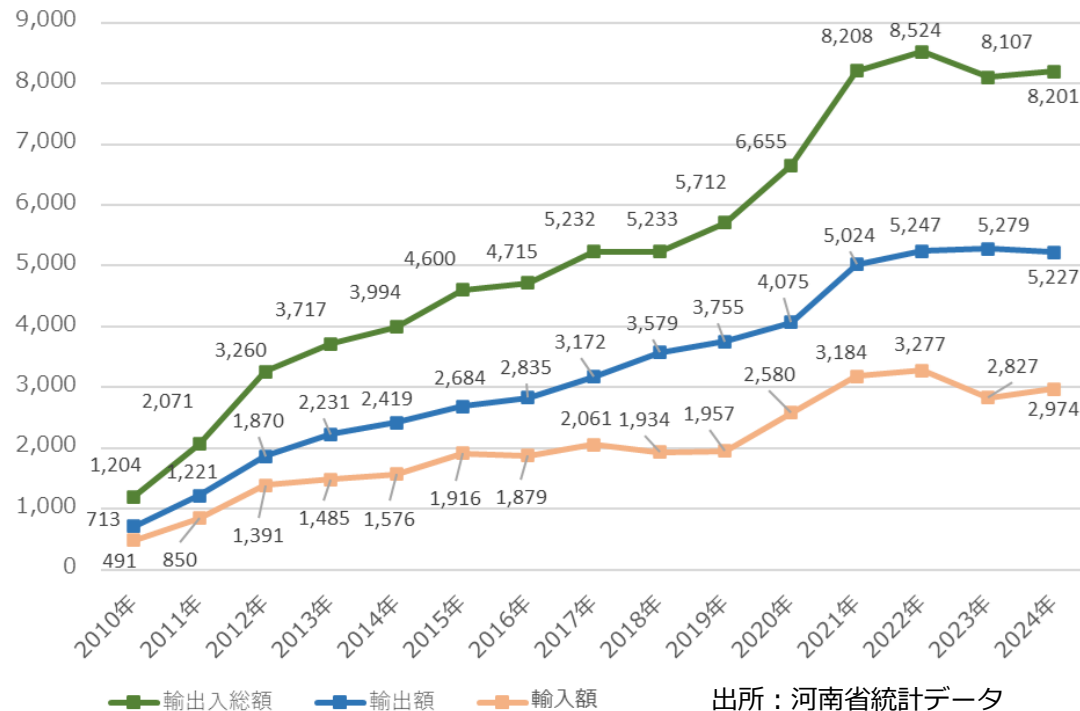
出所：河南省統計データ

河南省の概況

河南省の貿易額は中部地域で最大

- ・河南省は中部6省で最も貿易額が大きく、2023年の貿易額は8,201億7,100万元（前年比1.2%増）
- ・河南省が貿易額で中部をリードするようになったのは、2010年に竣工したフォックスコン鄭州工場の役割が大きい。同社はiPhoneの組み立て・製造を行い、世界各国・地域へ輸出。
- ・鄭州市は河南省の貿易額の約7割弱を占める。2024年の貿易額は5,565万元（前年比0.8%増）、うち輸入は3,551億元（前年比0.5%減）、輸出は2,014億元（前年比3.1%増）であった。
- ・2011年から2015年末までのフォックスコン鄭州工場から輸出されたiPhoneは3.7億台を突破した。輸出総額は合計1,390億ドルとなり、河南省における同時期の輸出総額の83.6%を占める。

河南省における貿易額の推移（2010年～2024年）





2. 鄭州市の概況

鄭州市の概況

鄭州市は河南省の省都、自動車産業や電子関連産業に強み

- ・河南省の省都鄭州市は、市内に6区5市1件を擁する。面積は約7,000km²、中心部の面積は約1,000km²。
- ・主要産業は、①自動車 ②電子関連 ③食品 ④鉱物（石炭・アルミニウム他）⑤設備製造 ⑥アパレルなど。

①自動車産業：東風日産の鄭州工場や、アジア最大の大型車輛メーカー（宇通集団）がある。

2023年に河南省で製造された自動車は78万台。このうち鄭州市の生産量は55万台。

②電子関連産業：フォックスコン鄭州工場（2010年8月竣工）がある。同社は主にiPhoneの組み立てを行う。

③食品産業：特に冷凍食品が強く、大手の冷凍食品メーカー（三全食品、思念食品、好想你）がある。

④鉱物関連産業：同市で生産される酸化アルミニウムの産出量は全国の50%を占めると言われる。

鄭州市内中心部の地図



鄭州高新技術 産業開發区

1988年設立、面積99km²



鄭州經濟技術開發区

1993年設立、面積158.7km²
東風日産の鄭州工場も入居



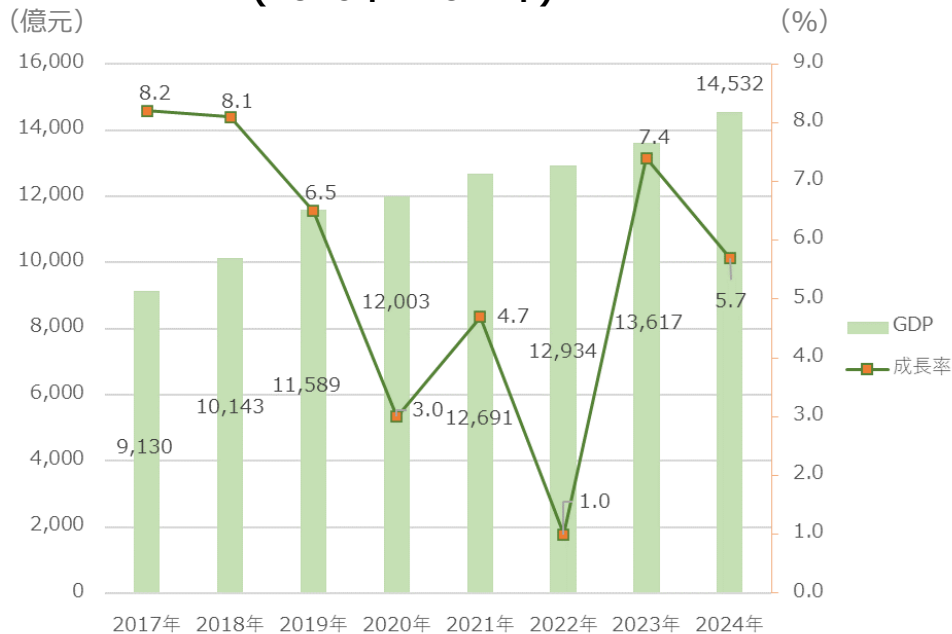
空港方面

鄭州市の概況

鄭州市のGDPは堅調に推移、社会消費品小売総額や一人当たり可処分所得も増加

- ・ 鄭州市の域内GDPは1兆4,532億元（前年比5.7%増）となり、中国中部地域4省（河南、湖北、湖南、江西）の省都の中で最大の伸びを見せた。
- ・ 社会消費品小売総額および一人当たり可処分所得は、前年比でそれぞれ4.7%、3.6%の伸びとなった。
- ・ 貿易総額は前年比0.8%増となり、2023年（前年比9.0%減）と比較して輸出額が堅調な伸びを見せた。
- ・ 2022年末時点で、市内企業数は約190万社。鄭州市に進出している主要な日系企業には日産、明電舎、レゾナック、鬼怒川ゴム、タチエス、紅忠宝金属などがある。

鄭州市におけるGDPの推移
(2016年～2024年)



出所：河南省統計データを基にジェトロ作成

鄭州市に関する各種データ(2024年)

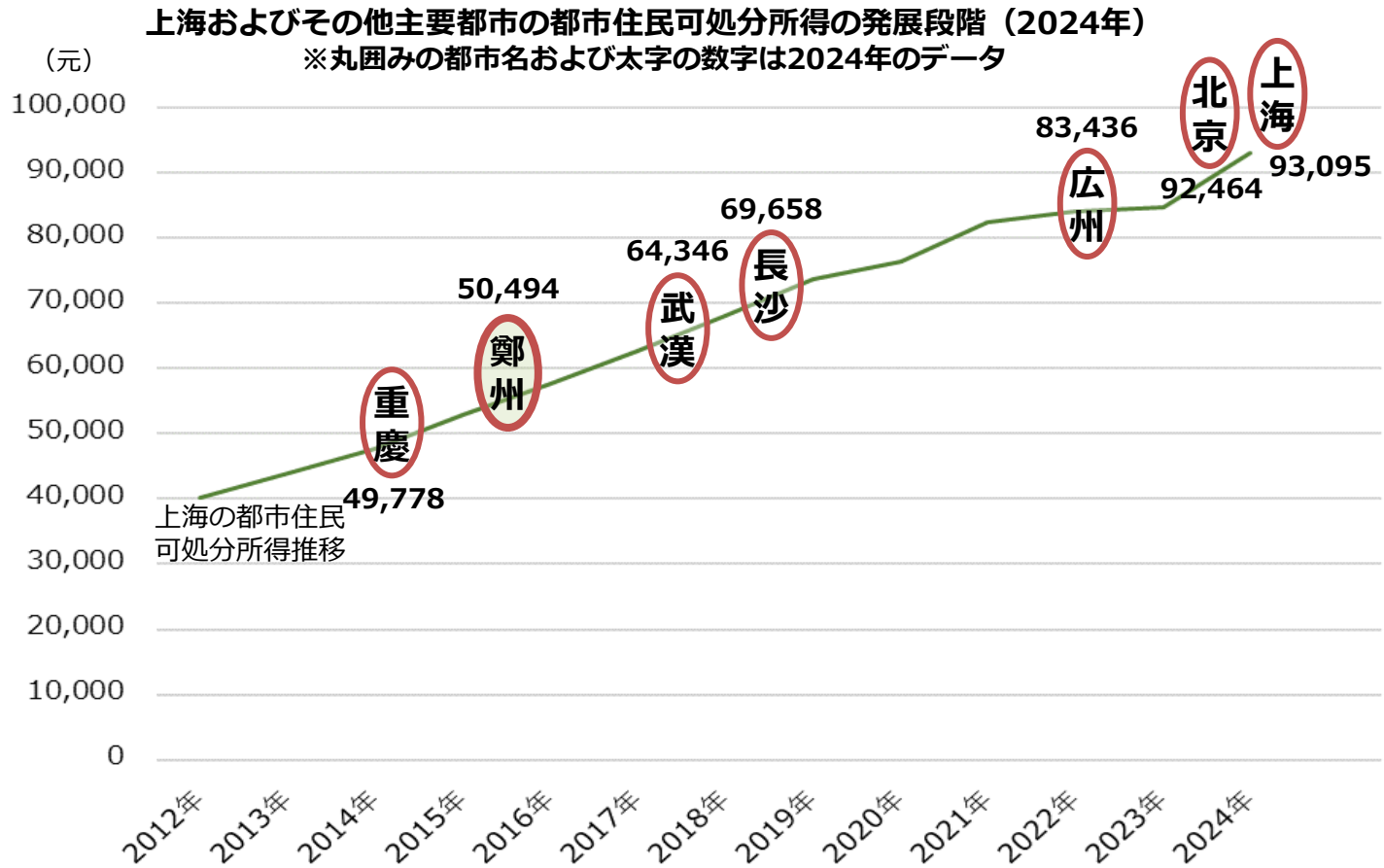
指標	数値	前年比 (%)
面積	7,567km ²	—
人口	1,308万人	—
GDP	1兆4,532億1,000万元	5.7%
社会消費品 小売総額	5,884億6,000万元	4.7%
都市住民 一人当たり 可処分所得	5万494元	3.6%
貿易額	5,565億8,000万元	0.8%
(輸出額)	2,014億8,000万元	3.1%
(輸入額)	3,551億元	▲0.5%

出所：河南省統計データ

鄭州市の所得の発展段階

鄭州市の都市住民可処分所得は、2014~2015年の上海の水準に相当

鄭州の2024年都市住民可処分所得は5万494元となっており、
同数字は2015年の上海（5万2,962元）と同程度の水準。



出所：各都市統計データ



補足：ジェトロ武漢について

体制：所長（高橋）、所員（1名）

ナショナルスタッフ（3名）

管轄地域：湖北省、湖南省、河南省、江西省

主要業務：相談・ブリーフィング対応、
商談会・セミナー・博覧会等のイベント開催、
現地政府機関との事業協力、ビジネス調査、
現地日系団体との連携

Tel: +86-27-5950-0707

Email : PCW@jetro.go.jp